

平成28年度 後期学校評価アンケートの結果

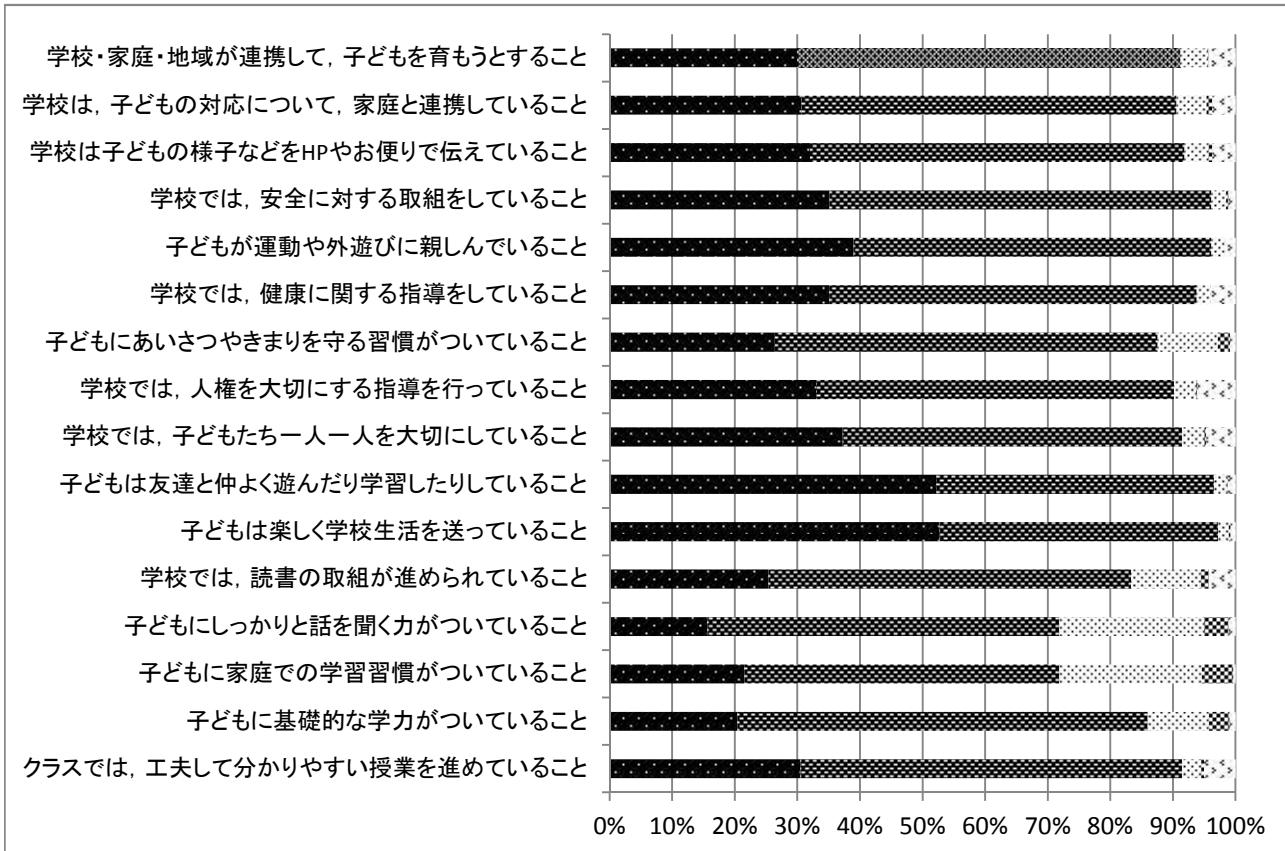
早春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。平素は本校教育にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、後期末に行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。アンケートは保護者、児童から調査を行い、グラフに表しました。

グラフは左から「よくできている」「大体できている」「あまりできていない」「できていない」で、保護者アンケートはいちばん右に「わからない」を表示しています。

アンケート結果を今後の学校運営に活かしていくよう、努力していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

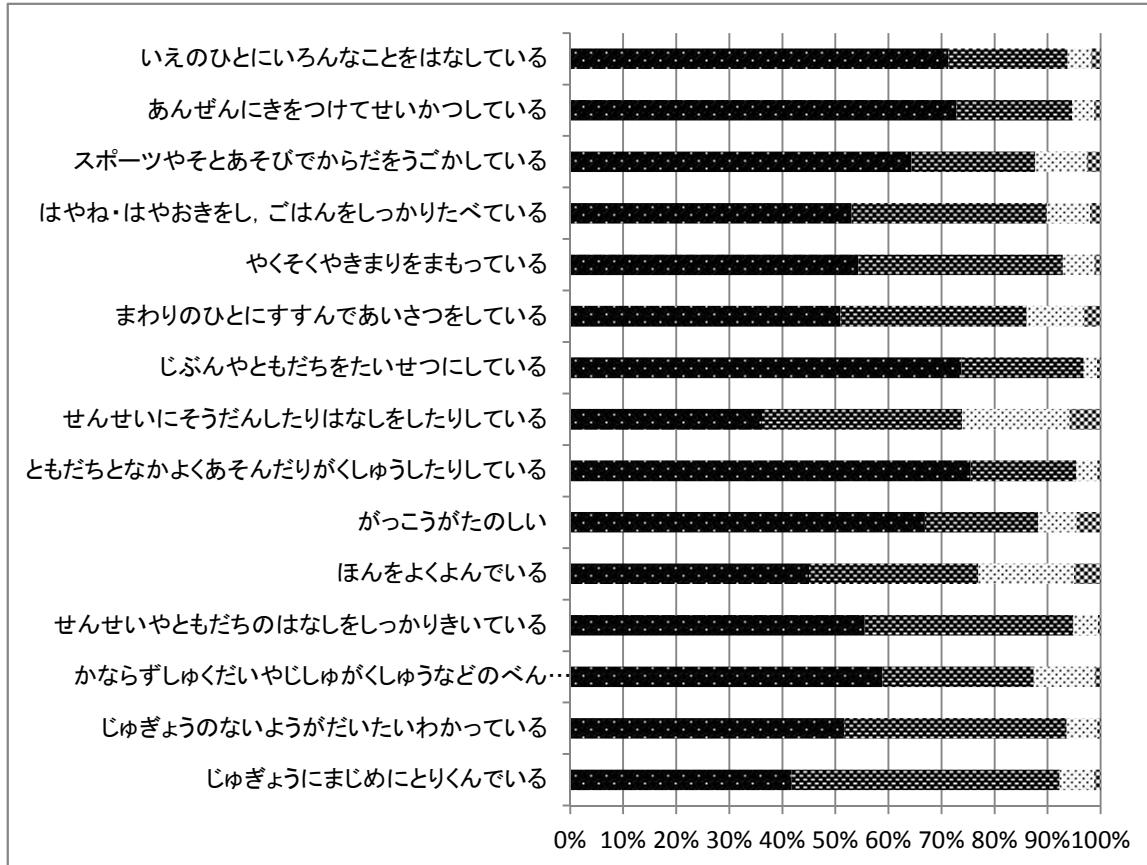
①保護者のアンケートより



保護者アンケートの結果の中でプラス評価（「よくできている」と「大体できている」）が前期と比べよかつたのは、「子どもが運動や外遊びに親しんでいること」で、約9%向上し、96.1%でした。また、「子どもにあいさつやきまりを守る習慣がついていること」においても約8%向上し87.6%となりました。子どもが元気に遊んだり、地域の中でしっかりとあいさつの習慣ができてきたりしてきたことについて大変世うれしく思っています。「クラスでは、工夫して分かりやすい授業を進めていること」についても91.5%のプラス評価をいただきました。「学校では、読書の取組が進められていること」については8%の向上が見られますが、全体で83.3%となっています。「子どもに基礎的な学力がついていること」では2.3%の微増となっています。目に見えて子どもたちの学力向上は伸びているわけだはありませんが、本校では国語科をベースとして、コミュニケーション能力を高めるように、話し合い活動などを授業に取り入れています。引き続き子どもたちの学力向上に向けて取り組んでいきたいと思います。

「学校は子どもの様子などをHPやお便りで伝えていること」では0.8%の微減の評価でした。

②児童のアンケートより



児童アンケートの結果の中で前期に比べプラス評価が一番向上したのは、「せんせいにそだんしたりはなしをしたりしている」で、5.0%のプラス評価が向上しています。後期になり、担任との関係性が緊密となり、相談しやすい環境ができてきたものと思われます。しかし、まだ、全体の74%程度ですので、引き続いてしっかりと子どもたちとの関係性を考えた指導の在り方を考えていきたいと思います。「はやね・はやおきをし、ごはんをしっかりたべている」についても前期と比べ4%向上し、85.4%となりました。しかしながら、基本的な生活習慣ですので、約15%に課題があると考えると、まだまだ家庭と連携し、取組を進めていく必要があります。「ほんをよくよんでいる」の項目では3.4%ダウンという結果でした。読書については、コミュニティ図書館が併設された学校という利点を生かし、団体貸出などで児童に読書の機会を提供していますが、高学年では自分から休み時間に図書館へ行って好きな本を借りるということが少ないということが現状です。「がっこうがたのしい」の項目でも、約2%の微減で、88.2%でした。大変残念な結果でありますので、真摯に受け止め、取組を見つめなおしていきたいと考えています。

プラス評価が高いのは、「じぶんやともだちをたいせつにしている」、「ともだちとなかよくあそんだりがくしゅうしたりしている」、「あんぜんにきをつけてせいかつしている」が95%程度のプラス評価があります。「せんせいやともだちのはなしをしっかりきいている」についても、94%と前期より若干向上しています。好結果に満足せず、来年度も人権の取組にも力を入れていきたいと思います。

両方のアンケートの結果については教職員で共通理解を図ることで、今後も改善に努めていきたいと思います。教職員一同、深草小の子ども達のために力を尽くしていきますので、ご支援・ご協力をお願いします。